

なかく街の先生「紹介用紙」の記入例

指導・活動分野名称を記入

指導(活動)分野	手品教室	指導	披露	講義
ふりがな	なか はなこ	登録番号		
氏名またはグループ名	中 花子	F	-	02
指導(活動)内容	・新聞紙やトランプなど、自宅にありそうなものを使ってできる簡単な手品(マジック)を教えます。			
対象者の程度	気軽に楽しむ	初心者向け	中級者向け	上級者向け
対象者の年代	乳幼児(親子)	小学生	中高生	大人
資格・指導の経験・活動歴(直近3年間)	・独学で有志の〇〇クラブに所属 ・平成29年から年に2回、子供会、老人会で手品教室を開催 ・〇〇コミュニティハウスで平成30年5月「手品教室」講師			
経費	指導(活動)料 不要	材料費 500円	交通費 実費	

指導(活動)対象者の程度に○(複数可)

実施にかかる「指導料・材料費・交通費」別に記入(具体的な金額・実費・不要など)

実際に講座等を行う際のプログラムの一例を記入。依頼する方が参考にできる内容にしてください。

アピールしたいひとことを記入(物販情報等の掲載されたホームページは掲載不可)

【プログラムの一例】

「楽しい手品教室」 定員:20人 所要時間:60分

- 最初に口上と手品を披露
- ゆっくり解説しながら披露
- 簡単な説明かしをして、質問に答える
- 参加者の練習タイム 1人ずつ実技指導
- 参加者同士で発表会(20分)

・説明資料と材料費としてお一人500円+(指導費用は不要)
 ・披露時に音楽用のCDラジカセ、電源が必要
 ・仕込みの机が必要
 ・材料以外の道具を使用する場合は、事前にお知らせして参加者に持参してもらう



【街の先生からひとこと】
 何か一技があると、自分自身も楽しくなるし、コミュニケーションツールとしても最適です。
 ぜひ、手品をおぼえてみませんか?
 私のHPもご覧ください! <http://〇〇〇〇...>

指導(活動)の実施方法
 ・指導:ワークショップや制作教室など
 ・披露:演奏や実演など(作品の披露は含まない)
 ・講義:座学や講演など
 該当するものに○(複数可)

指導(活動)内容の説明を簡潔に(2行程程度)記入

対象者の年代に○(複数可)

保有資格・指導経験、活動歴(直近の過去3年以内のもの)を簡潔(3行程程度)に記入

目安となる定員と所要時間がわかる内容のものは記入

写真やイラスト・作品等を掲載します。写真は活動時のものや、作品を映したものとします。画像は直接枠内に貼り付けるか、別途提出

- ・入力をする場合、フォント等を統一してありますので、設定を変更しないようお願いいたします。
- ・ご記入いただいた内容は、表記統一等のため、編集段階で校正・要約を行う場合がありますので、ご了承ください。
- ・最終版については事前にご確認いただきます。

プログラムが複数ある時の記入例

【プログラムの一例】

「楽しい手品教室」

定員：20人

所要時間：60分

- ① 最初に口上と手品を披露
- ② ゆっくり解説しながら披露
- ③ 簡単な種明かしをして、質問に答える
- ④ 参加者の練習タイム・1人ずつ実技指導
- ⑤ 参加者同士で発表会

「楽しい手品ショー」 所要時間 20分
・トランプや紙コップを使った手品を見せます

「一緒に手品ショー」 所要時間 20分
・代表の生徒と予め練習して手品を見せます

・教室の場合は材料費として1人500円



タイトルと定員、所要時間、大まかな内容を記入。定員や所要時間が同じ場合は省略。

別のプログラム以外の注意点などは「・」を付けて記入

作成物などが複数ある時の記入例

【プログラムの一例】

きらきらテープの雑貨づくり

定員：10人

「バッグ(B4サイズ)」 所要時間 120分×5回
・B4サイズまでの書類が入るトートバッグです

「バッグ(小)」 所要時間 120分×3回
・長財布が縦に入るサイズのトートバッグです

「チャーム」 所要時間 120分
・バッグにつけるリボン型などの飾りです

・バッグのデザインによって、材料費と所要時間が異なります



特に手順が必要ではない場合は手順は省略

「持ち物」はそのまま記入し「:」で区切って内容

持ち物:はさみ

・「*」や「※」などの記号は使用しないでください。

・入りきらない内容は「街の先生からひとこと」欄に付け加えてください。